

指導モデル案の様式を活用した学習指導案作成マニュアルです。

①から⑤の順番に必要な事項を記述して、学習指導案を作成してください。 ○○日 (○)

学校名 ○○○立○○○学校

1 単元名

○○○○ (教科書会社：□□□□)

2 単元の指導計画 (全○時間)

	毎時間のねらい	評価観点
1		

3 授業展開 全○時間中の第○時

(1) 授業のねらい

～～を通して、○○について△△する。

①この時間を終えたゴールの児童・生徒の姿をイメージして記述する。

(2) デジタル教科書を活用するねらい

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 拡大して細部まで確認する。 | <input type="checkbox"/> 自分の考えを書き込み、整理する。 |
| <input type="checkbox"/> 音声を聞く、動画を視聴する。 | <input type="checkbox"/> 教科書(デジタル教科書)を活用するねらい(活用など)。 |
| <input type="checkbox"/> 考えを共有・発表する。 | <input type="checkbox"/> I として当てはまるものにチェックを入れる。(複数可) |
| <input type="checkbox"/> 習熟度に応じた学習を行う。 | |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

(3) 本時の展開

時間	ねらい	指導上の留意点	評価
導入 5分	1 本時のねらい		
展開 約10分	2 課題追究を行う。	○学習者用端末の活用方法等は極力説明しない。	
約10分	A<個別に追究する時間> 活動内容：【例】自分が追究したい内容を、自分が選択した方法でまとめる。 方法：【例】 ■デジタル教科書を使い、デジタルか紙のノートにまとめる。 指導上の留意点：【例】 適宜○○省ウェブページ等を参考資料として示す。 【例】 指示①「自分で方法を選んで、まとめましょう。」		
約10分	B<共有する時間> 活動内容：【例】 友達がまとめた内容を知る。 方法：【例】 学習支援ソフトの共有機能を活用する。 指導上の留意点：【例】 指示②「良いと思った内容や方法についてコメントしましょう。」 【例】 発問①「内容や方法に似ている点や違う点はありましたか。」		
約15分 (20分)	C<深める時間> 活動内容：【例】 観点ごとにまとめる。 方法：【例】 学習支援ソフト 指導上の留意点：【例】 発問②「なぜ○○は～～なのか、根拠となるものは何ですか。」 【例】 指示③「話し合いを踏まえて、今の結論をノートに書きましょう。」 評価：【例】 ☆話し合ったことを整理して、結論をまとめる。(ト)		
まとめ 5分	3 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を		

なぜ○○は～～なのか、資料を要約して結論をまとめよう。

③授業のねらいの達成に向けて、児童・生徒が学習活動を具体的にイメージしたり、考えるための視点を把握したりすることができるねらいを記述する。

④ (1)「授業のねらい」を達成するために、展開で取り組む段階(A～C)を決めて、活動内容、方法、指導上の留意点、評価等を記述する。

⑤一単位時間の流れを確認し、導入やまとめの場面について、必要に応じて指導上の留意点を記述する。